様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	栄養改善事業	コード	41201

２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	赤羽　恵実

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	保健・医療の充実	施　策	健康づくりの推進
	予算科目	栄養改善事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	健康増進法、食育基本法		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		生活習慣病の予防及び改善等のため、市民一人ひとりが健全な食生活を実践していかれるように、岡谷市食育推進計画に基づき、食を通じた健康づくりの推進に努めた。
目的	対象者	岡谷市民
	意　図	バランスのとれた食生活の実践により、望ましい食習慣が身につくことで生活習慣病の予防・改善を図るとともに、食育を推進することで、生涯にわたって健全な心身を培い、健康でいきいきとした生活を営む。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

1　「もっと野菜を食べよう！運動」の推進
　・野菜レシピの配布：各支所、直売所、農業祭等　72箇所　32種類　8,645枚
2　すこやか食生活サポート事業
　①各種栄養講座の実施
　・おいしく食べてヘルスアップ教室　6回　延べ参加者　92人
　・出前講座等15回　延べ参加者　346人
　②訪問栄養指導の実施　　訪問指導延べ人数　66人
3　食育の推進
　① シルキーチャンネル、ホームページでの周知啓発　　年12回
　②イベント・検診等を通じた周知啓発
　・食育の展示　35回　　・栄養相談　27回　　延べ　339人
　③ 食育テキスト、各種レシピ等の活用　　8種類　1,648冊
　④食育推進研修会
　　期日：平成28年6月21日　　参加者　95人
　　場所：岡谷市役所9階大会議室
　　内容：講演　「地域とともに考える！食する力を育もう」
　　講師　松本大学地域健康支援ステーション　管理栄養士　飯澤　裕美　氏

4　食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援とし、食生活改善推進協議会の学習会等を実施した。
　・50回　延べ参加者　611人

前年度の課題への対応	望ましい食習慣の定着や規則正しい食生活のリズムが図られるよう、各種保健事業を通じて講演会や栄養指導を実施するとともに、ホームページ等を活用し食育情報の周知啓発に努めた。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	開催回数			単位
実績値	120	156	133	
＊指標の説明	市民を対象とした栄養相談、講座、展示等を実施した回数			
② 成果指標（指標名）	事業の参加者数			単位
目標値	1,344	1,655	2,031	1,965
実績値	1,655	2,031	1,965	
達成度	123.1%	122.7%	96.8%	
＊指標の説明	栄養講座、栄養相談の参加者数の合計			
＊目標値の設定方法の説明	前年度実績値			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	573,995	619,830	561,418	536,000
経常経費	573,995	619,830	561,418	
臨時的経費				
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	17,360,000	17,360,000	17,360,000	17,360,000
正規職員の人数（人）	2.17	2.17	2.17	2.17
③ 合計コスト（①＋②）	17,933,995	17,979,830	17,921,418	17,896,000
前年度比		100.3%	99.7%	99.9%
財源内訳 一般財源	17,933,995	17,979,830	17,921,418	17,896,000
財源内訳 特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	149,450	115,255	134,748	
前年度比		77.1%	116.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　96.8%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　96.8%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 食への関心度は個人差がある。基本的な生活習慣や健全な食生活を確立することは、生活習慣病の予防及び改善に繋がるとともに、生涯にわたって健全な心身と豊かな人間性を育む基礎となることから、様々な機会を通じて、子どもや若い世代への食育に努めることが必要。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 市民の健全な食生活への支援として、人が集まる場を積極的に活用して栄養指導や食育展示を実施するとともに、食育を推進する個人や団体が、食育に関する知識を深め情報を共有する機会として食育推進研修会を実施し、連携強化を図る。
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B